

### メッセージ 3

#### 命 成長、発展、円熟、実

聖書：マルコ4:26-29． ペテロ1:5-7． ヘブル6:1． ガラテヤ5:22-23． ヨハネ15:16

- ． 主の回復は、真理と命の回復です ヨハネ18:37後半． 10:10後半：
- A． キリスト教が衰退したのは、真理と命の両方を失ったからです( テモテ2:25． 1:10)。真理と命を失ったことは、多くの人間的な方法とこの世的な組織を生み出しました：
- 1． キリスト教団体は組織と人の働きに頼りますが、召会は真理の光だけに頼り、主の命を享受します テトス1:1-2． テモテ2:4． 3:15． 6:19。
  - 2． 召会のすべての内容は、真理と命としてのキリストがわたしたちの中で成長することではなければなりません ヨハネ14:6。
- B． 真理と命はいずれもキリストご自身です。しかしそれらは、彼が何であるかの二つの異なる面です 8:32, 36． 14:6． 11:25：
- 1． 真理は、外側の定義と説明です。命は、内側の内面的な内容です。
  - 2． キリストは命としてわたしたちの中におられます(コロサイ3:4)。しかし、命の経験は、説明を必要とします。この説明が真理です。
- C． 主を命として経験することは、主の真理の中に含まれています ヨハネ14:6． 11:25：
- 1． 主を命として経験するために、わたしたちは真理を知らなければなりません 8:32, 36。
  - 2． もしわたしたちが真理についてはっきりしておらず、真理を理解しておらず、真理を知らなければ、主をわたしたちの命として享受することはできません コロサイ1:5． 3:4。
  - 3． すべて経験のあるクリスチャンは認識していますが、もしわたしたちが聖書を知らず、聖書の中の真理を理解していなければ、キリストを命として享受することはできません ヨハネ17:17, 3。
- ． もしわたしたちが命について正しい認識を持つとするなら、命の成長が何であるかを知る必要があります：
- A． 命の成長とは、行為の改善、信心深さの表現、熱心に奉仕すること、知識の増加、賜物に富むこと、力が増し加わることではありません。
- B． 命の成長とは、神の要素が増し加わること(コロサイ2:19)、キリストの身の丈が増し加わること(エペソ3:17前半． 4:13)、聖霊の地位が拡大すること(5:18)、人の要素が減少すること、天然の命が砕かれること、わたしたちの魂の各部分が征服されることです( テモテ1:7)。
- ． 主の回復は運動ではありません。回復とは、命の種であるキリストご自身がわたした

ちの存在の中にまかれることです マタイ13:3-4前半, 19 :

A . 神の王国とは、三一の神が受肉において彼の選びの民の中にまかれて、彼らの中で成長し発展し、王国となることです マルコ4:26-29。

B . 神の王国は、種の繁殖によって生み出されます 26節 :

1 . 種をまく者が種をまくと、種は生長し繁殖し、最終的に種の繁殖は王国の構成要素となります。

2 . 王国の建造は、働きによるのではなく、命の種の繁殖によります。

C . 王国とは、キリストの拡大、すなわち、わたしたちの中にまかれた種であるキリストの繁殖です ルカ17:20-21 . 8:5-8 :

1 . 種をまく者、すなわち、ご自身が種です。種の繁殖は、種をまく者の繁殖です。

2 . イエス・キリストは神の王国の種です。この種は、彼の中へと信じる者たちの中にまかれました マルコ4:26-29。

. ペテロ第1章5節から7節には、信仰から愛へと至る王国の種の発展があります :

A . わたしたちは信仰を活用する必要があります。それは、神聖な命の美徳が発展して、円熟へと到るためです 5節。

B . 信仰は種にたとえることができます :

1 . ペテロ第1章23節では、種は言葉であり、その中に命としてのキリストがおられます。

2 . ペテロ第1章では、この種はわたしたちの信仰となり、それは「同じ尊い信仰」です(1節)。この信仰は、種としてのキリストと一です。

C . 信仰から愛へと至る発展には、美徳、知識、自制、忍耐、敬虔が含まれています 5-6節。

D . 最終的に、完全な発展と円熟があります。それは、信仰の種から、美徳と知識の根、自制の幹、忍耐と敬虔の枝を経て、兄弟愛と愛との花と実へと至ります 7節。

. 造り変えられるとは、わたしたちの天然の命において新陳代謝的に変えられることです。円熟するとは、わたしたちを変える神聖な命で満たされることです ヘブル6:1 :

A . 造り変えの最後の段階は、円熟、すなわち命の豊満です :

1 . 神の永遠の目的は、わたしたちの造り変えと円熟を通してのみ達成されることができます 創1:26 . コロサイ1:28 . 2:19 . エペソ4:13 :

2 . 円熟とは、神聖な命がわたしたちの中に何度も何度も分け与えられて、ついにはわたしたちが命の豊満を持つことです ヨハネ10:10後半 . コリント5:4後半。

B . 命の豊満とは、祝福であり、命が他の人たちの中へとあふれ流れることです 創47:7, 10 . 49:28 . ヨハネ5:16。

C . 神は主権をもって人、物、事を用いて、わたしたちを満たしていたあらゆるもの<sup>から</sup>空にし、わたしたちを占有していたあらゆるものを取り除きます。それはわたしたちの度量が増し加えられて、神で満たされるためです ローマ8:28 . ルカ1:53 . マタイ5:6 :

- 1 . 円熟した信者は、神があわれみ深く、すべてに十分であり、あらゆる状況において自分の必要に応じてくださることを知っています 創43:14 . 17:1 . ピリピ1:19-21前半 . 4:11-12。
  - 2 . 円熟した信者の安息と信頼は、すべてに十分な神のあわれみに完全にあるのであって、自分自身や自分の能力にはありません ローマ9:16。
- . 実は、表現と繁殖を指しています。わたしたちは、神聖な命から出てくる二種類の実を必要とします。すなわち、クリスチャンの美德という実と、神聖な命で再生された人という実です ガラテヤ5:22-23 . ヨハネ15:16。